



灰釉睡蓮浅鉢「雨あがる」 w440×d440×h90 mm



藤田 レイ子 Fujita Reiko

土への郷愁に誘われるまま陶芸の道に入り40年余り。夢を抱いた時期もありました。今は何の気負いもなく自分の作る「用の器達」が、思い通り健やかに仕上がる事を願いロクロに向っています。時には子供のように自由に夢中になって土との時間を愉しんでいます。その中から生まれる作品、満足はしていませんが納得しています。少々息切れ気味ですが、協会から刺激を受け乍らこれからも土と語り、ずっと先の「満足」を追いかけていたいと思っています。

1952年秋田市生。高校卒業後市内会社に就職。1980年宮城県の上村世一氏に師事。1986年帰郷。数年の活動休止期間を経て現在に至る。